



聖母ニュース



編集・発行
社会福祉法人聖母会聖母病院
〒161-8521
東京都新宿区中落合2-5-1
TEL03-3951-1111
<https://www.seibokai.or.jp>



Merry Christmas & Happy new year

聖母病院★クリスマス



◆理 念◆

愛をもって病める人を癒されたキリストにならい、国籍、信仰、貧富を問わず、心の通う医療を提供して病める人々の身体的、精神的、社会的、霊的ニーズをみとめる。

◆基本方針◆

1. 生命を尊重し、最善の医療をおこないます。
2. 地域医療機関および福祉施設等と連携し、安心できる医療をおこないます。
3. 病院の理念に基づいて質の高い医療人を育成します。

◆患者様の権利と責務◆

患者様には次の権利が保障されています。

1. 平等かつ適切な医療を受けられます。
2. 人権が尊重されます。
3. 病状、治療について十分な説明が受けられます。
4. 医療内容を選択または拒否できます。
5. 個人情報やプライバシーが守られます。
6. セカンドオピニオンを求めることができます。

患者様へのお願い(責務)。

1. 適切な医療を受けるために、健康(病状)に関する情報を正しくお知らせください。
2. 医療行為に関して納得したうえで意思を明らかにし、指示に従ってください。
3. お互いによりよい治療と療養生活を送るために、定められた規則を守ってください。

聖書のことば

み使いたちが離れて天に去ると、羊飼いたちは語り合った、「さあ、ベツレヘムへ行って、主が知らせてくださった、その出来事を見て来よう」。そして、彼らは急いで行き、マリアとヨセフ、そして飼う葉桶に寝ている乳飲み子を探しあてた。(ルカ2:15-16)

When the angels had returned to heaven, the shepherds said to one another; "Let us go over to Bethlehem and see this event which the Lord has made known to us." They went in haste and found Mary and Joseph and the baby lying in the manger. (Luke2:15-16)

クリスマス おめでとうございます

看護部長 山本 智美

クリスマスは聖母病院にとって大切なイベントで、クリスマスを迎えるために、馬小屋やクリスマスツリーを飾ります。皆さんは、クリスマスは何の日かご存じでしょうか?「キリストの誕生日」と思っている人が多くいらつしゃいますが、正しくは「キリストが生まれてきたことをお祝いする日(降誕祭)」なのです。イエス・キリストは今から約2000年前、ベツレヘムの馬小屋で、聖母マリアのもとに生を受けました。この生誕をお祝いする日がクリスマスです。ところで、イエス・キリストはなぜ馬小屋で生まれたのでしょうか?宮殿や普通の家ではなかったのでしょうか。調べてみると、「イエスが馬小屋で生まれたこ

とには確かに意味があった。馬小屋で生まれたからこそ、イエスは貧しい人々に神の愛を伝えることができたのだ。」「救いの希望は、幼子という弱く傷つきやすい存在を、喜んで迎え入れ、ケアすることのうちに発見される、というメッセージがそこに隠されている。」と書いてありました。

コロナ禍を経て街はにぎやかにクリスマスムード一色ですが、世界に目を向けると戦争によって多くの命が犠牲となり、日本では若い年代が自ら命を絶っています。クリスマスをにぎやかにお祝いするのは楽しいですが、クリスマスだからこそ、一人ひとりのかけがえない「いのち」に寄り添いたいものです。

171号の内容

クリスマス おめでとうございます	1	聖母病院創立物語 第7回	3
総合診療科通信 第2回	2	お知らせコーナー	3
眼科通信 第2回	2	外来診察表	4



マルチモビディティ

総合診療科 部長 南郷栄秀

今回は、医療現場でますます重要性を増している「マルチモビディティ」の概念について解説します。マルチモビディティとは、2つ以上の慢性疾患が併存する、多疾患併存の状態のことです。

似た言葉に「コモビディティ(併存症)」がありますが、こちらは診療の中心となる疾患が1つ存在し、それに関連した周辺疾患や健康問題も生じている状態です。例えば、「2型糖尿病、さらには糖尿病網膜症と慢性腎臓病を抱えている患者さん」は、2型糖尿病という主たる疾患があり、コモビディティが生じていることになります。この場合は糖尿病が中心なので、メインで診る診療科は決まりやすいです。

一方、マルチモビディティとは、2型糖尿病、慢性心不全、骨粗鬆症、認知症、うつ病、変形性膝関節症のように、「複数の主たる慢性疾患を抱えた状態」を意味します。医療の進歩により治療法や薬の選択肢が広がり、多くの患者さんが長寿を迎えるようになりました。しかし、その裏側で、このように複数の疾患を持つ患者さんが増えてきています。実に65歳以上の6割がマルチモビディティの状態であると言われています。

複数の疾患があると、検査や薬が増え、生活上で注意

すべきことも多くなる上に、薬の相互作用、生活環境の調整、リハビリテーションや介護サービスの導入など、より複雑なケアが求められます。昨今、さまざまな治療法に関する診療ガイドラインが公開されていますが、単一の疾患に対するマネジメントの方法を推奨するものはあっても、マルチモビディティへの対応を直接示したものはほとんど見当たりません。マルチモビディティの患者さんは複数の診療科を受診する必要がありますが、各専門家がそれぞれ疾患や問題に最適だと考えるケアを行っていても、相互の連携がうまく取れていなければ個々のケアが分断されかねません。ある病気に対する治療が他の病気にとっては好ましくない場合もありますし、患者さんの現状を考えると優先度が低いケアにもかかわらず注力されてしまっている場合もあります。

マルチモビディティの患者さんに対しては、一人ひとりの状態やニーズに合わせた「個別のケア」を考えることが大事です。患者さんの抱える問題全体を俯瞰し、その人にとっていま本当に必要なケアは何か、どのようなサポートを優先すべきかを判断すること、それこそが総合診療医の役割です。超高齢社会を迎える中で、病気だけでなく、患者さんの生活全般に目を向けることが求められています。私たち総合診療医が中心となり、さまざまな専門家と協働し、チームとして患者さんのケアに関わることで、最適なケアの提供を実現します。



糖尿病と目

眼科 戸ヶ崎英理奈

糖尿病とはインスリンというホルモンの働きが十分でないために血液中の糖(血糖値)が増えてしまう病気で全身に様々な影響を及ぼします。血糖値が高い状態が続くと全身の血管がボロボロになってしまうため、細かい血管がたくさんある眼の網膜にも障害が起きて糖尿病網膜症が起こります。

糖尿病網膜症は進行するまで自覚症状はほとんどありませんが日本における失明の原因の約13%を占めており、緑内障、網膜色素変性症に次いで第3位となっています。

○糖尿病網膜症の分類、病期と治療

①単純網膜症

糖尿病網膜の初期で、この時期はほとんど自覚症状がありません。網膜の血管に瘤ができたり(毛細血管瘤)や網膜の出血や網膜の血管から漏れ出たタンパク質や脂肪からなる白斑を認めます。

治療は血糖のコントロールを行うことです。

②増殖前網膜症

網膜の血管の一部が詰まったりすることにより血流不足となり、軟性白斑というものがみられるようになりますが自覚症状はないことがほとんどです。網膜の浮み(黄斑浮腫)が見られると視力低下を伴うこともあります。

血流不足を確認するために眼底蛍光造影検査を行ったり、必要に応じてレーザーによる治療(汎網膜光凝固)が必要となることも多いです。このレーザーの治療で網膜症を治すことはできませんが進行を抑える効果があります。

③増殖網膜症

網膜の血流不足が続いたことにより、新生血管や増殖膜ができます。新生血管から出血すると硝子体出血が起きたり、増殖膜が網膜を牽引し網膜剥離が起こります。硝子体出血や網膜剥離により高度な視力障害が起こり、レーザー治療に加えて硝子体手術が必要となることがあります。

網膜症の他にも、虹彩炎や緑内障、白内障、外眼筋麻痺など多彩な合併症が起こることがあります。網膜症は完治することは難しいですが適切な治療と血糖コントロールで進行を抑えることは可能です。かなり進行するまで自覚症状がないので定期的な眼底検査を受けるようにしましょう。

山本信次郎氏(1877-1942)と千代子夫人(1884-1929)

小児科 部長 猪野雅孝

聖母病院は国際聖母病院として1931年(昭和6年)に創立されました。その創立に大きく関わったのが、初代病院長となった戸塚文卿神父とシャンボン大司教でした。そして病院設立をかねて支える存在だったのが、のちに海軍少将となった山本信次郎氏と千代子夫人でした。

山本信次郎氏は暁星中学校でフランス語を学び、在学中に洗礼を受けてカトリック信者となります。卒業後軍人となり日露戦争等に従軍し、1915年から駐イタリア日本大使館付の武官となり外交官としての活躍を始めます。そして1921年(大正10年)の皇太子裕仁親王(のちの昭和天皇)ヨーロッパ外遊に随行しました。6か月間にわたり、イギリス、フランス、ベルギー、オランダ、イタリアを歴訪し、フランス語の進講や通訳のみならず、テーブルマナーをはじめとする各国の習慣を進講したり、柔道の

相手をしたりしました。皇太子殿下とローマ教皇ベネディクトゥス15世との会見実現に尽力しました。その間、留学した戸塚文卿青



← 山本信次郎氏
↓ 山本千代子氏



年をパリの駅頭で迎えています。1922年に少将になり、外交官としてたびたび海外に派遣され、欧米数十か国を歴訪して諸外国の日本理解に尽力しました。その後、約20年にわたり、昭和天皇の側近として仕えました。信次郎氏は海軍軍医総監であった戸塚環海氏とは旧知の間柄で、その息子である文卿氏は暁星中学校で学んだ信仰の同士でした。戸塚文卿氏が留学中に司祭になる決意をした際に、戸塚氏は両親を説得する役を山本信次郎氏に依頼しています。しかし、山本氏が戸塚氏の両親を訪問した際に、ご両親は驚愕し、悲嘆、憤慨が激しく、山本氏は伝言もそこそこにして家へ逃げ帰ったとのことでした。

山本信次郎氏の妻千代子氏は日本銀行初代総裁の吉原重俊氏の次女で、麻布のカトリック婦人会「聖心聖マルグリット会」の会長を務めていました。聖心聖マルグリット会の有志らは、1922年(大正11年)ころより、愛徳姉妹会という病院経営にあたる修道会をヨーロッパから招いてカトリック病院を建てることを目標としていました。帝国ホテルでバザーなどの催しをたびたび行い、資金集めをしていましたが、この修道会を招くことが難しくなり、計画が頓挫していました。そのような中で、国際聖母病院創立の話が持ち上がり、「戸塚先生が神父になって帰朝して病院を建てるなら大いに後援する」旨の手紙をパリ外国宣教会に勤務中のシャンボン神父に送っています。

その後、山本信次郎氏は千代子夫人とともに、有楽町の邦画座(丸の内ピカデリーの前身)で音楽会を開催し、募金活動を行いました。作曲家山田耕筰らが指揮をし、歌人謝野晶子も協力しました。皇族方もご臨席され、ご婦人方は留袖で出席されたそうです。山本夫妻はその後国際聖母病院の建設資金集めに尽力しましたが、残念なことに、千代子夫人は国際聖母病院創立の2年前に45歳で天に召されてしまいました。山本信次郎は1942年(昭和17年)に64歳で帰天されました。

お知らせコーナー

患者相談窓口のご案内

相談窓口では、患者様、ご家族の皆様からの様々な、ご相談・ご質問・ご意見に対応しています。遠慮なくご相談ください。

対応時間

- ◆ 平日 8:00~16:15
- ◆ 土曜日 8:00~12:00
- ◆ 第3土曜日・日曜祝日・病院休診日は休み

相談内容

- ◆ 療養に関すること
- ◆ 医療費や介護・福祉制度などに関すること
- ◆ 治療に関する不安や苦情、要望など
- ◆ 医療安全に関すること その他

担当者

内容に応じて、看護師・社会福祉士・医療安全管理者・薬剤師・管理栄養士・バストラックアワーカー等が対応させていただきます。

場所

本館2階 地域連携部内

●●● 認知症相談のご案内 ●●●

私も認知症ではないかしらとご心配されている方、認知症患者様ご自身のお悩みや、認知症患者様の介護に苦労されている皆様のご相談に認知症看護認定看護師が対応いたします。認知症を正しく知れば、解決策が必ず見えてきます。一人で抱え込まないで一緒に考えていきましょう。

【対象となる方】 当院に通院されている方およびそのご家族
*ご家族だけでもご利用いただけます。

【費用】 無料

【相談時間】 10:00~16:00 1回約45分(予約制)

【ご予約の方法】

平日 8:30~16:00 03-3951-1111(内742)

看護部 荒木までお電話ください。

勤務の都合上、対応できない日もございますがご了承ください。



外来診察表

◇お知らせ◇ 当院は原則予約制です。ご予約のない患者さまは、お待ちいただく時間が長くなる可能性あることをご承知ください。(令和5年12.1～)

			月	火	水	木	金	土 (第3週休診)
内 科	午前診療	①	濱松 永昌		北濱真理子	宮本 大介	濱松 永昌	宮本 大介
		②	小野 真理	市瀬 裕一	岡野 真弓	岡野真弓/東海林英典	小野 真理	市瀬 裕一
		③	宮田 由紀	渡邊 成美	桃井 瑞生	安藤 稔/第5.休	佐々木順子	稲垣 裕介
		④	伊藤 直人	伊藤 直人	東海林英典	伊藤 直人		
		⑤	庫川 恵理	宮田 由紀	庫川 恵理	井上ゆか子	岡野 真弓	庫川 恵理
		⑥	藤井 大輔	八尾 厚史		藤井 大輔		
	午後診療	①	宮本 大介	北濱真理子	馬淵 敬祐	宮本 大介	大河内遼太郎	
		②	伊藤 直人	小野 真理	桃井 瑞生	安藤 稔/第5.休	第1.3.5 宮本大介	
		③	藤井 大輔	宮本 大介		宮田 由紀	交代制	
		④	交代制				第2.4 藤井大輔	
総合診療科 (院内標榜)	午前				南郷 栄秀		勝俣 元都	
	午後			正廣 紀衣	勝俣 元都	南郷 栄秀	正廣 紀衣	
内 視 鏡	午 前		鈴木辰典(内科) 東海林英典(内科)	松延修一郎(外科) 濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科) 宮野省三(外科)	茅島敦人(内科) 東海林英典(内科)	井上幸紀(外科)
	午 後		井原聡三郎(内科) 東海林英典(内科)	濱松永昌(内科) 東海林英典(内科)	濱松永昌(内科)	濱松永昌(内科) 宮野省三(外科)	田中敏明(外科)	
外 科	午 前		井上 幸紀	井上 幸紀	松延修一郎	田中 敏明	井上 幸紀	田中 敏明
乳腺外科	午 前		加藤 昌弘		菊山みずほ	菊山みずほ	甲斐崎祥一	菊山みずほ
	午後		加藤 昌弘	神野浩光/岩瀬 哲			甲斐崎祥一	
泌尿器科	午 後		額賀 明里			額賀 明里		
整形外科	午前	①	小川 政明	橋本 健史	小川 政明	小川 政明	三箇島吉統	交代制
		②	小林 亜里	小林 亜里	土岐 尋江	小林 亜里		
		③	土岐 尋江			第1.3 村越 薫 第2.4.5 土岐尋江		
産婦人科	午後			宮本英明 14:00～15:30 (予約のみ)				
	午前	初 診	兼子 絢華	坂井 健良(8:45～)	内田 浩(9:00～)	山本 大貴	小野あすか(9:30～)	宮越 敬
		再 診	山内 潤 山内 美和	山内 潤 宮越 敬	増澤 利秀 山内 美和 戸田 里実	山内 潤 山内 美和 兼子 絢華	宮越 敬(10:30～) 戸田 里実	増澤 利秀 戸田 里実(～12:30) 兼子 絢華
	午後診療				胎児診断外来/宮越 敬 第1.3 大森 茂 (14:00～15:00)	腫瘍外来/片岡史夫		
小 児 科	① ② ③		江崎奈緒子 前田 由美 山中 聡子	岩丸 良子 前田 由美 隔月1回 石田 悠(神経)	江崎奈緒子 新貝千賀子	大塚 素子 前田 由美 第1.3 松井順子(神経) 第2.4.5 岩丸良子	江崎奈緒子 高橋 美希	大塚 素子 前田 由美 第1.5 松井順子
		④		江崎奈緒子(予防接種)	前田由美(予防接種)	高橋美希(予防接種)	大塚素子(予防接種)	
		乳幼児健診		大塚 素子	山中 聡子	猪野雅孝(BCG)	岩丸 良子	
		1か月健診	猪野 雅孝 前田 由美 江崎奈緒子	大塚 素子 岩丸 良子	猪野 雅孝 山中 聡子 江崎奈緒子	前田 由美 大塚 素子 高橋 美希	岩丸 良子 高橋 美希	
	専門外来		新生児フォローアップ/猪野雅孝 心臓/島田衣里子第2月検	アレルギー/前田由美 夜尿症/大塚素子 予約/岩丸良子	アレルギー/前田由美 新生児フォローアップ/猪野雅孝 新生児フォローアップ/山中聡子	神経(月1回)/衛藤 薫 予約/岩丸良子	アレルギー/江崎奈緒子 予約/大塚素子 予防接種/岩丸良子 予防接種/高橋美希	
精 神 科			永富めぐみ	永富めぐみ	非 常 勤	永富めぐみ	永富めぐみ	永富めぐみ
耳 鼻 咽喉科	午 前		中川 秀樹 大石 直樹	中川 秀樹	濱之上泰裕 第2 斉藤秀行	齋藤康一郎	中川 秀樹	中川 秀樹
	専門外来		音声・嚥下外来	音声・言語外来		音声外来		交代制(慶應大)
眼 科	午 前		太根 ゆさ 不定期 戸ヶ崎英理奈	戸ヶ崎英理奈	戸ヶ崎英理奈 河井 明佳	戸ヶ崎英理奈 落合 淳一	海田 千恵 非 常 勤	第2.4 戸ヶ崎英理奈 非 常 勤
	専門外来			特殊予約外来	手術	特殊予約外来		
皮 膚 科	午前	1 診	松浦 功一	松浦 功一	小林 里実	平山愛里彩/松浦功一/交代制	第2.4 小林里実	松浦 功一
		2 診	平山愛里彩	平山愛里彩	矢作 美奈	西山有希子	第1.3.5 平山愛里彩	平山愛里彩
		予約外来	川上 理子	小林 里実	川上 理子	特殊治療/小林里実	西山有希子	第1:松田 薫 第2:竹石玲奈
	午後	専門外来	小児皮膚科・小児レーザー/ 川上理子 掌蹠膿疱症性骨関節炎/ 石原陽子 光線・学童/松浦功一	乾癬・掌蹠膿疱症・小児レ ーザー/小林里実 ピーリング/ 平山愛里彩 松浦功一	小児皮膚科・小児レーザー/ 川上理子 乾癬・掌蹠膿疱症/ 小林里実 光線・学童/矢作美奈	手術/ 小林里実 平山愛里彩 松浦功一	乾癬・掌蹠膿疱症/ 小林里実 光線・学童/平山愛里彩	

*休診日：日曜、祝祭日、第3土曜日、クリスマス（12月25日）、年末年始（12月30日～1月3日）

予約センターについて

代表電話からはお繋ぎする事ができません。

全科診療予約については、予約センターにて受付致します。下記時間内に直通電話にてご連絡をお願い致します。

予約受付時間	平 日	9:00～16:00
	土曜日	9:00～12:30(第3土曜日除く)
予約センター電話番号	03-6908-1717	

※産婦人科・乳腺外科以外の科は、当日予約は受け付けておりません。
※検査の予約変更・キャンセルについて、医療上のご質問がある場合は各科外来へご連絡ください。
※診療状況によりご希望の日程で予約が取れない場合がありますが、予めご了承ください。

編集後記

冬の夜空を見上げると、星が輝き綺麗ですね。

冬の星座を代表する”冬の大三角”、おおいて座（シリウス）オリオン座（ベテルギウス）こいぬ座（プロキオン）など、1等星が多く見つけやすいのも魅力です！

街中はクリスマスモードに包まれておりますが、宵の空に昇る自然のイルミネーションで、星空観察を楽しむのも素敵ですね。

今年も残すところあと僅かとなりました。どうぞ穏やかな新年を迎えられますようお祈り申し上げます。(T.O)